

# 【7-A】長根連区 社会条件

## 【連区の概要】

長根連区は瀬戸市の西部に位置している。連区内の多くは住宅地であり、北側の連区境界には瀬戸川が、南側の連区境界には矢田川が、それぞれ流れている。主要道路としては、東西に国道 363 号および県道 61 号が存在する。また、鉄道は連区の中央部を愛知環状鉄道が通過している（連区内に駅は存在しない）。

長根連区



## 【人口および世帯数】

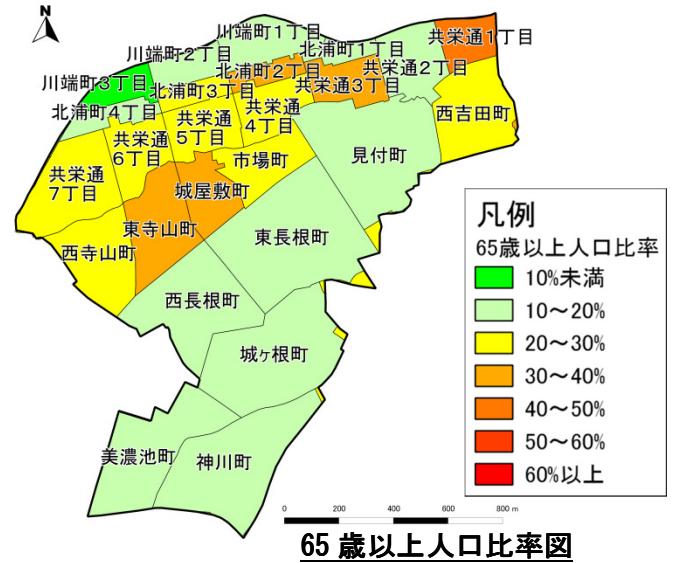
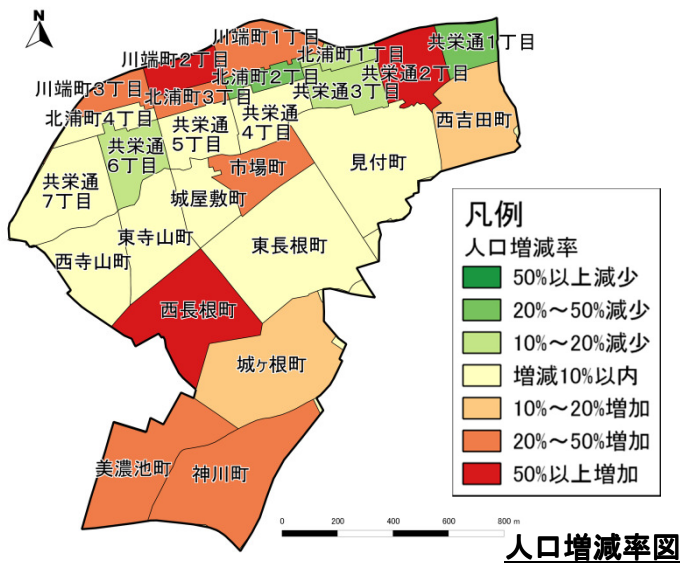
平成 12 年から平成 22 年までの 10 年間で、長根連区全体の人口は 7,718 人から 8,787 人と 13.9%増加し、共栄通 1 丁目、北浦町 1 丁目～3 丁目・6 丁目では減少傾向であるものの、それ以外の町丁目では増加している。また世帯数は 2,830 世帯から 3,541 世帯と 25.1%増加している。

長根連区全体の 65 歳以上人口比率が 19.2%と、瀬戸市全体の 23.3%と比べて 4.1%低い。ただし、国道 363 号と愛知県道 61 号名古屋瀬戸線と挟まれた地域などにおいて、65 歳以上人口比率が比較的高い。

階層別人口構成

年代	人口	構成比
0～14歳	1,300人	14.9%
15～64歳	5,744人	65.9%
65歳以上	1,676人	19.2%
区分不明	67人	-
連区内人口	8,787人	

※平成22年国勢調査結果より



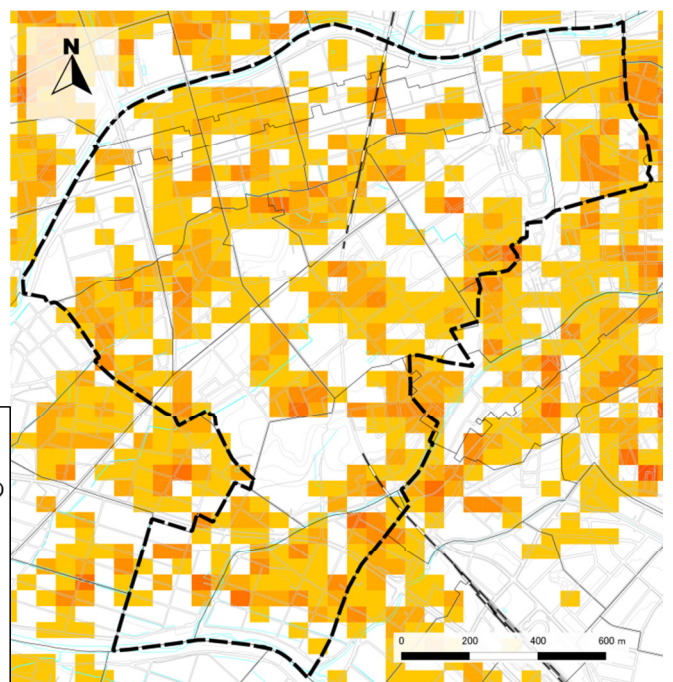
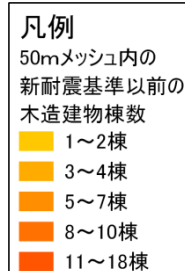
## 【建物】

長根連区の木造建物および非木造建物の割合は、木造建物 64.1%、非木造建物 35.9%である。新耐震基準以前(昭和 55 年以前)の木造建物は全建物の 30.5%であり、瀬戸市全体の 34.3%に比べて若干低い。

### 木造・非木造構成

	建築年	棟数	構成比
木造	S35年以前	266棟	8.0%
	S36～55年	751棟	22.5%
	S56年以降	1,126棟	33.7%
	計	2,143棟	64.1%
非木造	S45年以前	298棟	8.9%
	S46～55年	216棟	6.5%
	S56年以降	684棟	20.5%
	計	1,198棟	35.9%
連区内棟数		3,341棟	100.0%

※平成23年度都市計画基礎調査  
建物利用現況図をもとに集計



## 【7-B】長根連区 水害および土砂災害

- 矢田川沿いにて過去に水害が発生している。また、一部土砂災害特別警戒区域および土砂災害警戒区域が存在する。
- 連区北東部、南部に風水害時の避難所までの距離が離れている地域が存在する。

### 【水害および土砂災害箇所】

長根連区では、浸水想定区域については設定されていないが、神川町では平成12年の東海豪雨時に浸水被害が発生している。

また城ヶ根町にある山林で土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）および土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）に指定されている箇所がある（警戒区域内に建物は存在しない）。

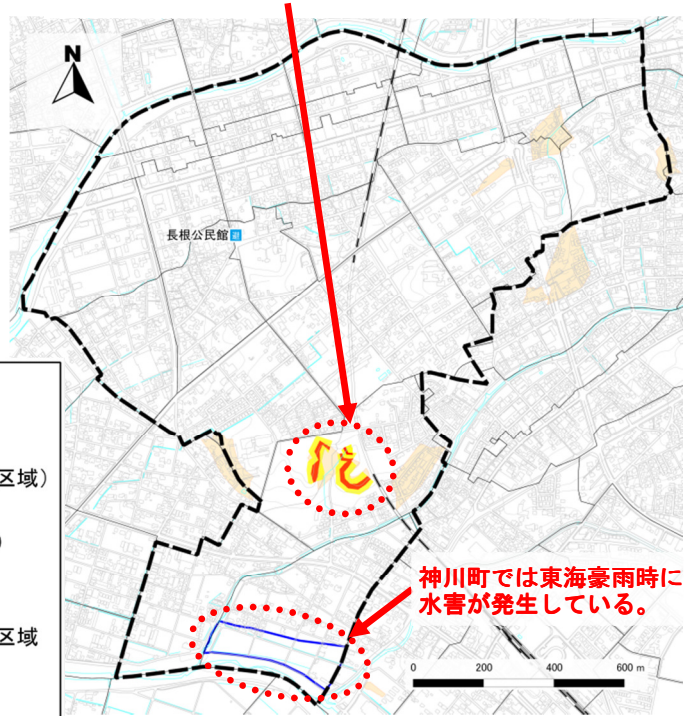
### 土砂災害警戒区域内にある建物棟数

急傾斜地の崩壊	0棟
特別警戒区域	0棟
警戒区域	0棟

#### 凡例

- 風水害避難所
- 土砂災害情報
- 急傾斜地の崩壊（特別警戒区域）
- 土石流（特別警戒区域）
- 急傾斜地の崩壊（警戒区域）
- 土石流（警戒区域）
- 土石流危険渓流
- 土石流危険渓流による危険区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所
- 既往水害（東海豪雨）

城ヶ根町では土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）および土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）がある。



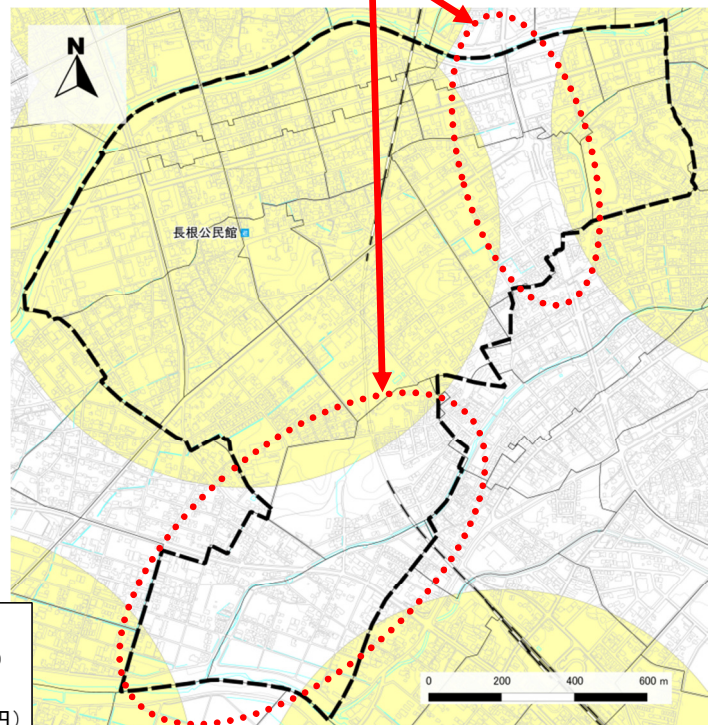
水害・土砂災害危険度図

神川町では東海豪雨時に水害が発生している。

### 【風水害時の避難所および緊急避難場所】

長根連区では長根公民館が風水害時の避難所・緊急避難場所として指定されている。連区北東部（北浦町1丁目、共栄通2丁目、共栄通3丁目、見付町の一部）および連区南部（城ヶ根町、美濃池町、神川町）にて、避難所までの距離が700m以上離れている地域が存在する。風水害時の避難所への近接性が良くないことを周知するとともに、早めの避難を促すなど、避難体制を整える必要がある。

連区北東部と南部には、避難所まで700m以上離れている地域が存在する。



風水害時の避難所・緊急避難場所の対象範囲図

### 風水害時の避難所・緊急避難場所一覧

緊急避難場所・避難所	収容定員（目安）		
	長期	初期	直後
長根公民館	60人	115人	190人
陶原公民館【陶原連区】	60人	115人	185人
本地会館【本地連区】	40人	65人	110人
幡山公民館【菱野連区】	40人	80人	130人

※地域防災計画より

#### 凡例

- 避難所・緊急避難場所（風水害）
- 緊急避難場所兼避難所
- 避難所等からの対象範囲（同心円）
- 避難所から700mの範囲



## 【7-C】長根連区 地震災害

- 連区中央部に耐震性の低い建物が倒壊する割合の高い地域がある。
- 連区北東部に地震時の避難所までの距離が離れている地域が存在する。

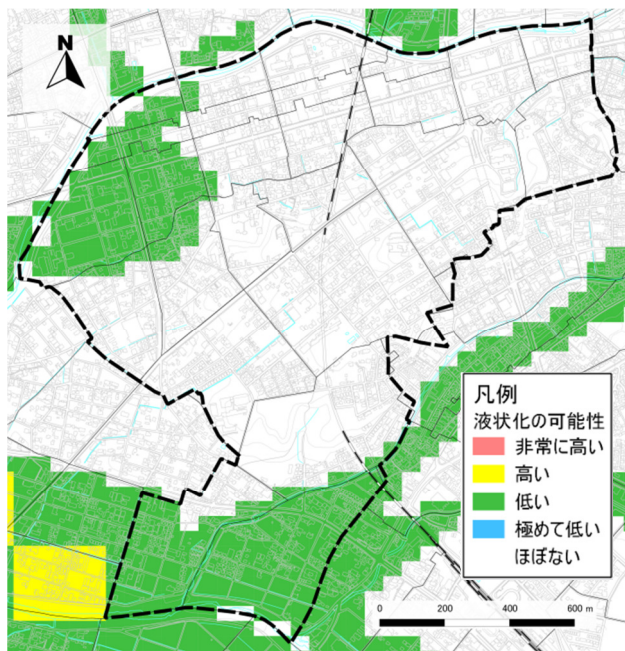
### 【建物被害および液状化】

#### (1) 建物被害について

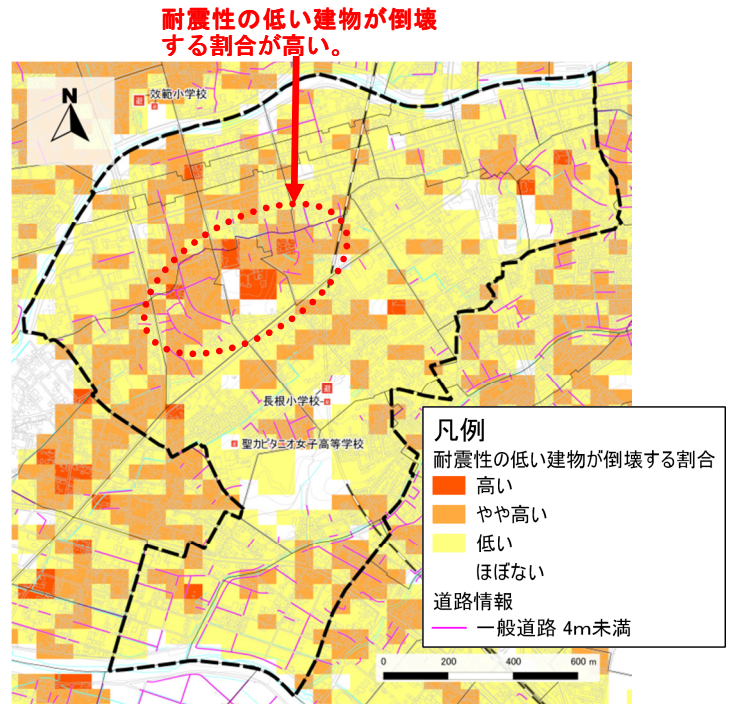
長根連区はほぼ全域にて、耐震性の低い建物が倒壊する危険性がある。このうち、連区中央部（東寺山町、城屋敷町、市場町）では、耐震性の低い建物が倒壊する割合が高い傾向があり、幅員が狭小な道路が多いため、道路閉塞や火災延焼の危険度が高い。

#### (2) 液状化について

液状化の可能性がある地域は、主に瀬戸川および矢田川に形成された沖積低地（谷底平野）に分布している。



液状化危険度図



建物(木造および非木造)倒壊危険度図

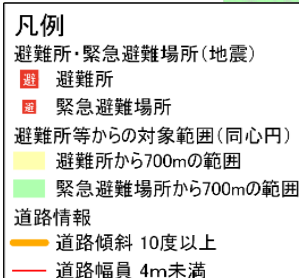
### 【地震時の避難所および緊急避難場所】

長根連区では、地震時の緊急避難場所として、長根小学校、聖カピタニオ女子高等学校の2ヶ所、避難所として長根小学校が指定されている。近隣連区の避難所を含めると、連区北東部（北浦町1丁目、共栄通2~3丁目など）を除き、700m以内に地震時の避難所もしくは緊急避難場所が存在する。

#### 地震時の避難所・緊急避難場所一覧

緊急避難場所	避難所	収容定員(目安)		
		長期	初期	直後
長根小学校(運動場)	長根小学校	95人	190人	310人
聖カピタニオ女子高等学校(運動場)	效範小学校【效範連区】	95人	195人	315人
陶原小学校(運動場)【陶原連区】	陶原小学校【陶原連区】	135人	275人	445人
效範小学校(運動場)【效範連区】				

※地域防災計画より



地震時の避難所・緊急避難場所の対象範囲